

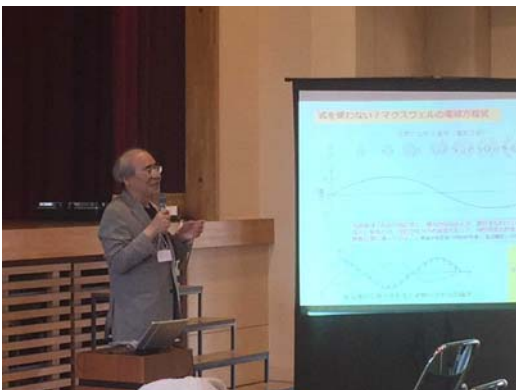
# MLA48



## MLA48 プロジェクト

### 🕒 北陸ハムフェスティバル参加（6月5日）

6月5日(日)天候にも恵まれ、富山県 [滑川市](#) で開催された [北陸ハムフェスティバル](#) に遠征参加しました。MLA展示のセッティング開始と同時に、待ちきれずご質問が飛び交って、うれしい悲鳴が…体育館のほぼ半分が展示で充実しています。 [JA9BSL野村さん](#) 力作の [2回巻きマルチバンドMLA](#) が目に入り、早速MLA48にご入会いただきました。講演は『アンテナに魅せられて40年・たどり着いたMLA』と題してJG1UNE小暮が担当。お招きいただいた [JA9APS河合さん](#)、[JA9BOH前川さん](#)（お二人ともMLA48メンバー）とお久しぶりにアイボールがかないました。終了後、富山駅前での懇親会にお招きいただき、[JF1IQQ下地さん](#) が金沢勤務時代の同僚 [JA9JX小島さん](#) も参加され、旧交を温められました。小島さんをMLA48にお誘いする直前、そびえるタワーにフルサイズ・アンテナ群の写真をいただき、「MLAはお呼びでない(hi)」と悟ったしだいです。しかしローバンドのOMさん達もやはり強烈なノイズで相手局が聞こえないとのこと。せめて受信だけでもMLAをお試しいただけるよう提案しました。



講演中の JG1UNE



JG1CCL

JF1IQQ

JR1OAO

JF1VNR

JG1UNE

さて、ここからは [JG1UNE・JE1WTR](#) の取材レポートです。4日は魚津に前泊でしたが、到着後、[歴史民俗博物館](#) に向かいました。「魚津の三太郎博士」の展示がお目当てでしたが、[八木・宇田アンテナ](#) の発明者、[宇田新太郎博士](#) は写真とパネルだけで残念。[川原田政太郎博士](#) のコーナーは充実しています。電子式テレビジョンの父は [高柳健次郎博士](#) ですが、NHK朝ドラ「凜凛と」の主人公モデル川原田博士は [機械式](#) です（次ページはスタジオ再現セットのテレビカメラ）。また、電気親子時計などの発明品も展示されていますが、「[磁歪（じわい）](#) 時計」は珍しく、学芸員の方に詳しい情報を後送いただけるようお願いしてきました。



宇田 新太郎  
(1896~1976)

テレビアンテナの発明者 宇田新太郎博士

昭和29年 入善町船見に生まれる  
〔魚津尋常高等小学校（現大町校）在学  
〔魚津尋常小学校（現村本校）卒業  
魚津尋常高等小学校高等科卒業  
昭和33年 東北帝国大学工学部電気工学科卒業  
昭和35年 東北帝国大学工学部助教授  
昭和37年 工学博士となる  
昭和38年 欧米に在学研究（2か年）  
昭和39年 帝国学士院賞（超短波の研究）受賞  
昭和41年 東北大学教授電気通信研究所兼務  
昭和43年 東北大学大学院工学研究科教授を兼務  
昭和49年 インド国立物理研究所エレクトロニク  
ス部門の長に就任  
昭和55年 東北大学名誉教授  
昭和59年 紫綬褒章（超短波の研究）を受章  
昭和62年 勲二等瑞宝章を受章  
昭和65年 病没（81才）



かわらだまさたろう  
川原田政太郎  
(1890~1983)

世界的科学者



川原田政太郎先生特許  
第一号の時計



魚津は蜃気楼の街でもあります。つぎに訪ねた埋没林博物館では、300インチのハイビジョンでしくみを勉強。海面近くと上空の温度差が原因とのことですが、50MHzで通信できなくなった経験を思い出しました。5日の午前中は、滑川市のほたるいかミュージアムを取材（朝から展示・解説のみなさんすみマセン）。発光ライブショーは1日から「龍宮ホタルの発光ショー」で、体長1mmほどの深海性発光プランクトンに超音波を当てると、青白い神秘的光が…電磁波を発するしくみは昆虫のほたると同じなのだそうです。進化の過程で何がきっかけだったのか…宇宙にはさまざまな電磁波が充満しているのだと、改めて感動しました。本日（6日）帰宅組は、道の駅スカイドーム神岡でニュートリノ研究施設のスーパーカミオカンデを体験！といきたかったのですが、残念ながら故障中😞とのこと。電波のおおもとは素粒子（光子：フォトン）と考えれば、アンテナのまわりに素粒子がイメージできるか…？この3日間で、電波にゆかりの地を堪能しました。 DE JGIUNE



川原田博士発明の初期のテレビジョンカメラ

レンズ

川原田政太郎先生特許  
第一号の時計

磁歪時計

磁歪と云う現象を分かり易く云うと、金属にコイルを巻いて電気を通すと、その金属はこくわずかながら、伸びたり、ちぢんだりする。これは交流したり、または断続電流によって、振動がおこるわけである。反対に振動しているものの状態を電気的につかまえることができるのである。

「わたしはこの研究に長い年月をかけて取り組んできたが、いわば磁歪時計はその一つの産物である。たしが昭和20年の6月10日の時の記念日に第1号が製作されたので忘れられない思い出になっている」と述懐されていた。

